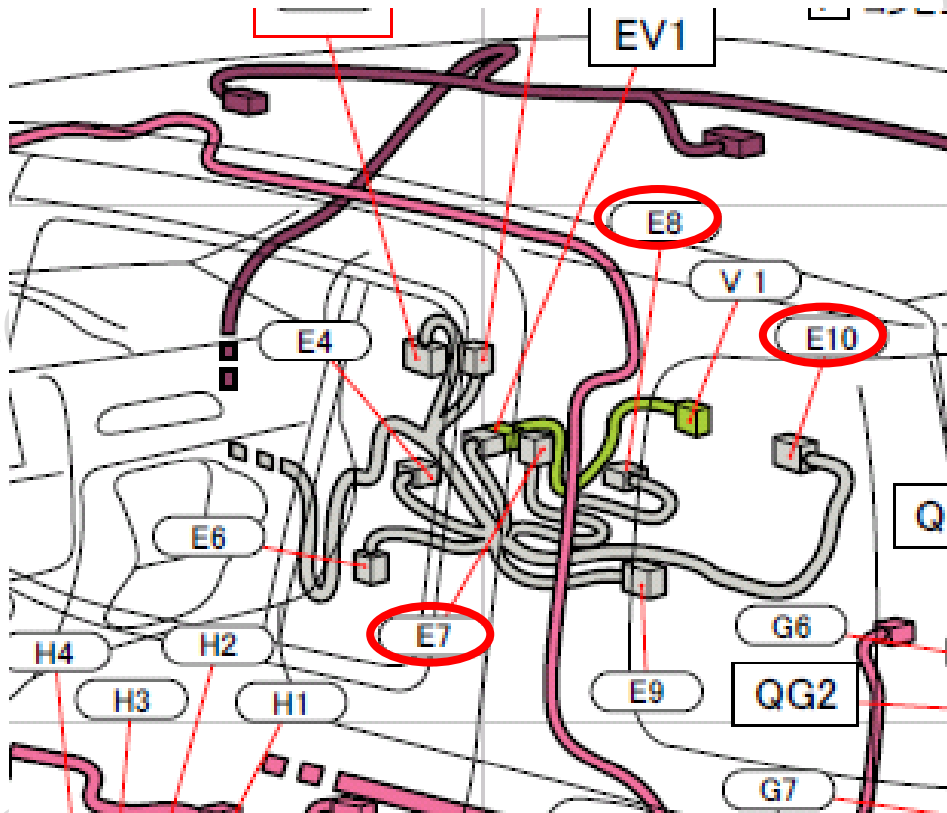


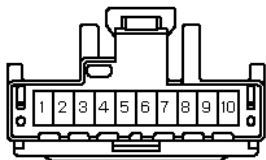
注意

本資料の著作権はパーソナルCARパーツ株式会社が所有します。一切の文章、画像、情報の無断転載を禁じます
 本資料は取付先について保証するものではありません。ご購入者様での参考資料としてください。
 本資料は実車をもとに作成しておりますが、車のグレード、年式、オプション、マイナーチェンジ等により
 配線色が異なっている場合があります。
 取付に際しては、必ず実車で説明書記載のタイミングで電圧が出力されていることをテスターにて確認願います。
 本資料を基に装着し、装置あるいは車両部品の破損が発生しても弊社では一切保証できませんので予めご了承願います。

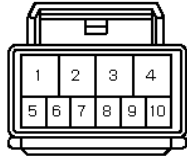
コネクタ位置(運転席ドア内部)



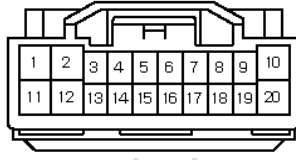
E7コネクタ(乳白色)



E10コネクタ(乳白色)



E8コネクタ(乳白色)



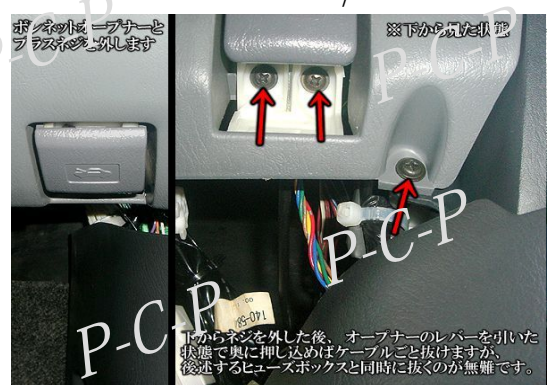
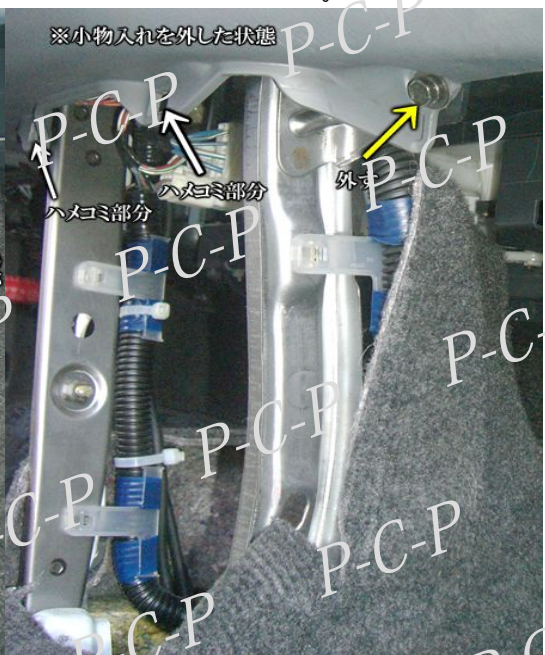
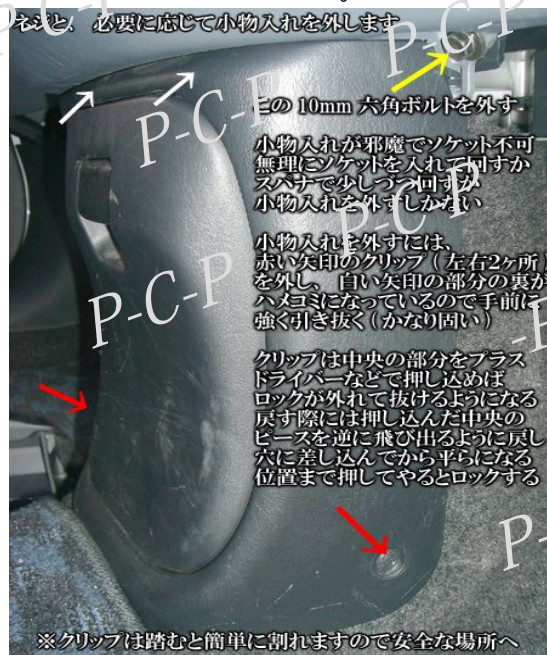
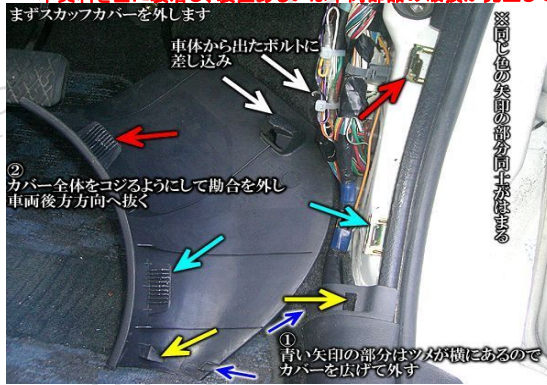
結線一覧

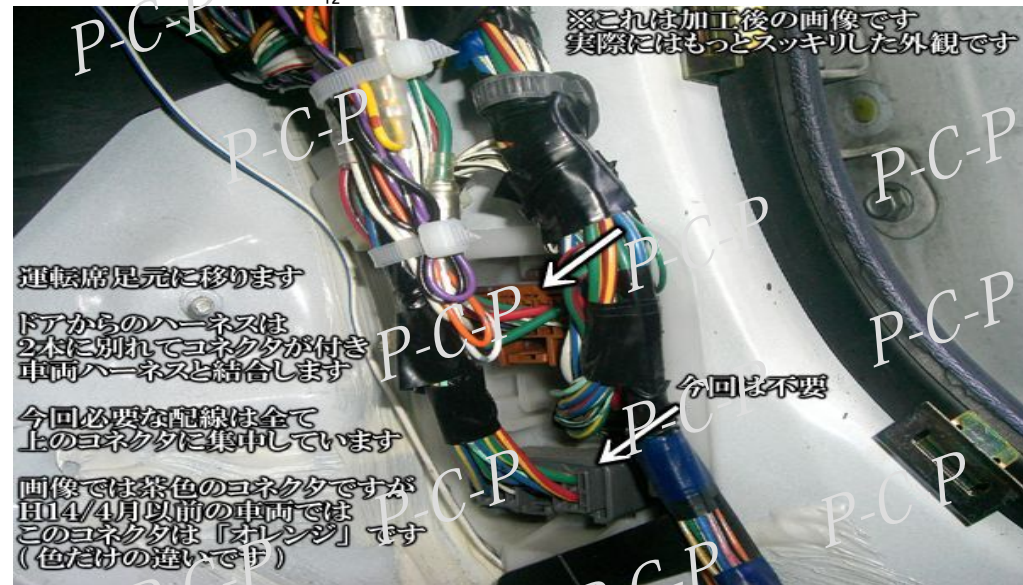
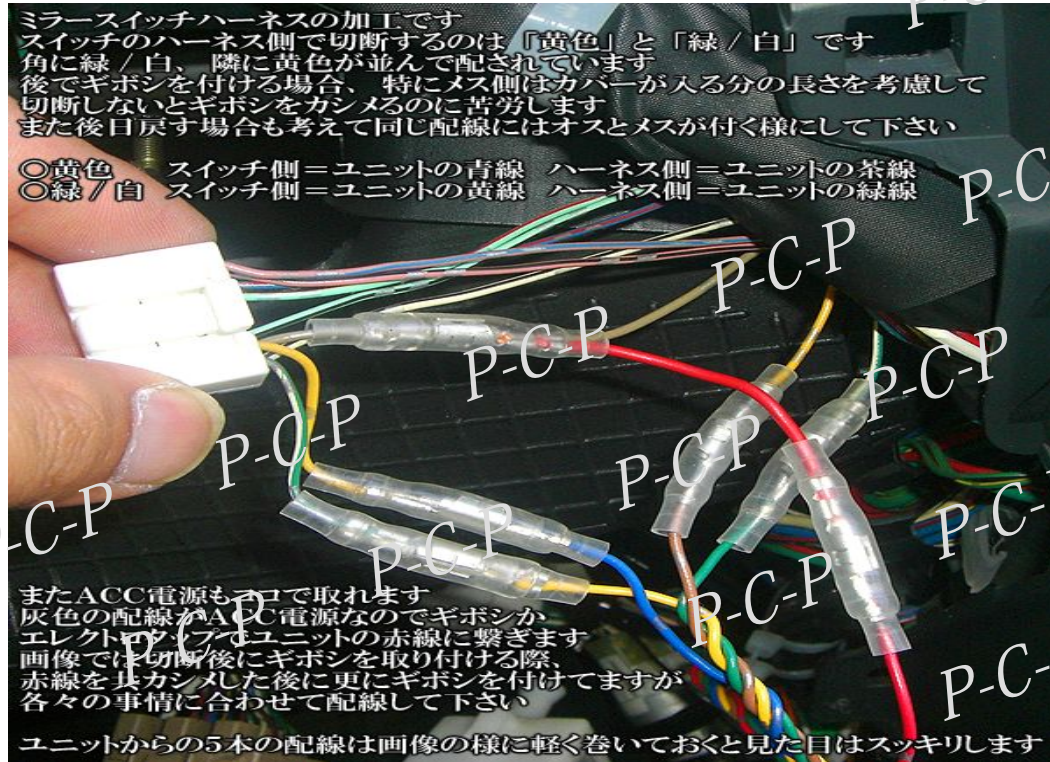
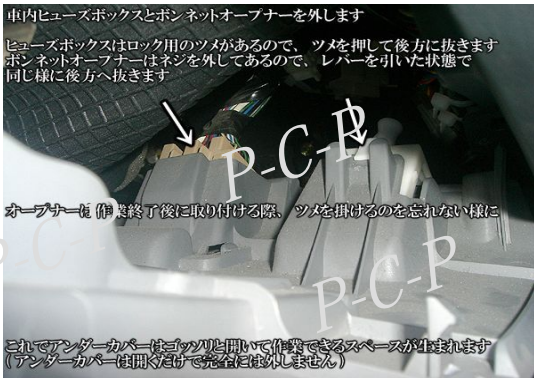
装置から出ている配線	車側への結線場所
DSW+ (黄色)	ドアミラースイッチコネクタ E7 9番(白色)線 切断後のスイッチ側
DMT+ (緑色)	ドアミラースイッチコネクタ E7 9番(白色)線 切断後の出力側
DSW- (青色)	ドアミラースイッチコネクタ E7 10番(橙色)線 切断後のスイッチ側
DMT- (茶色)	ドアミラースイッチコネクタ E7 10番(橙色)線 切断後の出力側
ドアロック時+12V (橙色)	ドアロックアクチュエータコネクタ E10 4番(黄色)線
ドアアンロック時+12V (紫色)	ドアロックアクシュエータコネクタ E10 1番(白色)線
ボディアース (黒色)	ドアミラースイッチコネクタE7 7番(白+黒色)線
バッテリー電源 (白色)	パワーウィンドウスイッチコネクタ E8 10番(緑色)線
ACC (赤色)	ドアミラースイッチコネクタE7 8番(灰色)線

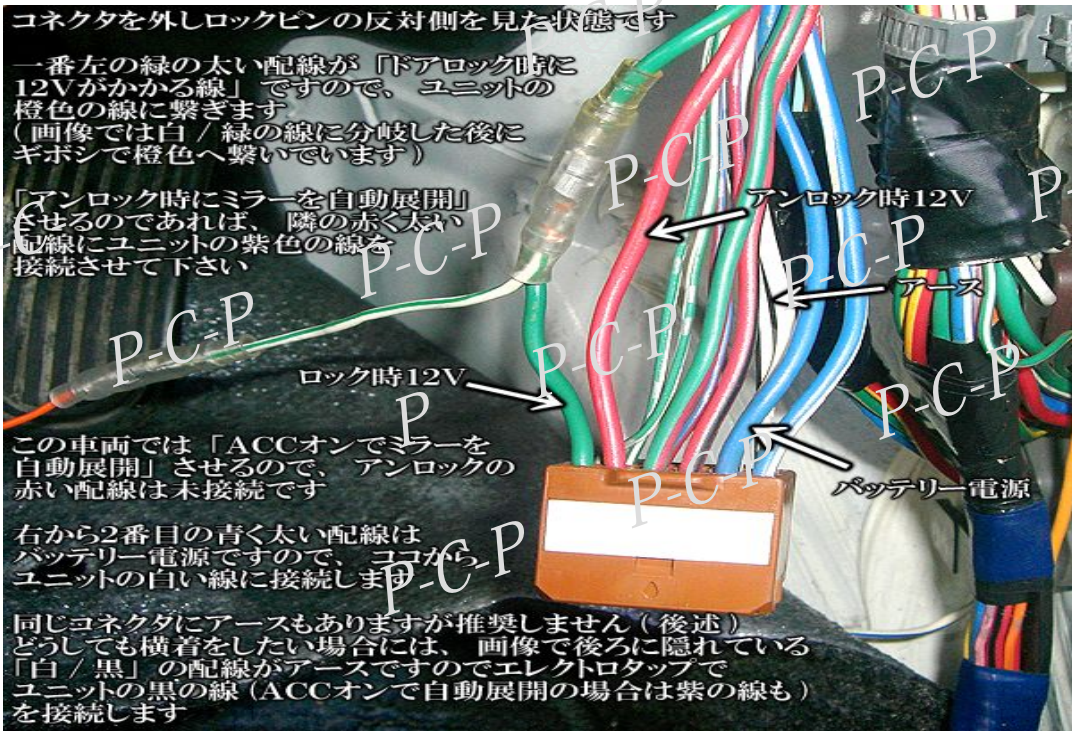
※装置タイプEには紫色配線はございません。
 ※装置タイプCには橙色及び紫色配線はございません。
 ※装置タイプDには橙色配線はございません。

ラウム EXZ10 装着参考資料

注意
 本資料の著作権はパーソナルCAR/パーツ株式会社が所有します。一切の文章、画像、情報の無断転載を禁じます
 本資料は取付先について保証するものではありません。ご購入者様での参考資料としてください。
 本資料は実車をもとに作成しておりますが、車のグレード、年式、オプション、マイナーチェンジ等により配線色が異なっている場合があります。
 取付に際しては、必ず実車で説明書記載のタイミングで電圧が出力されていることをテスターにて確認願います。
 本資料を基に装着し、装置あるいは車両部品の破損が発生しても弊社では一切保証できませんので予めご了承願います。







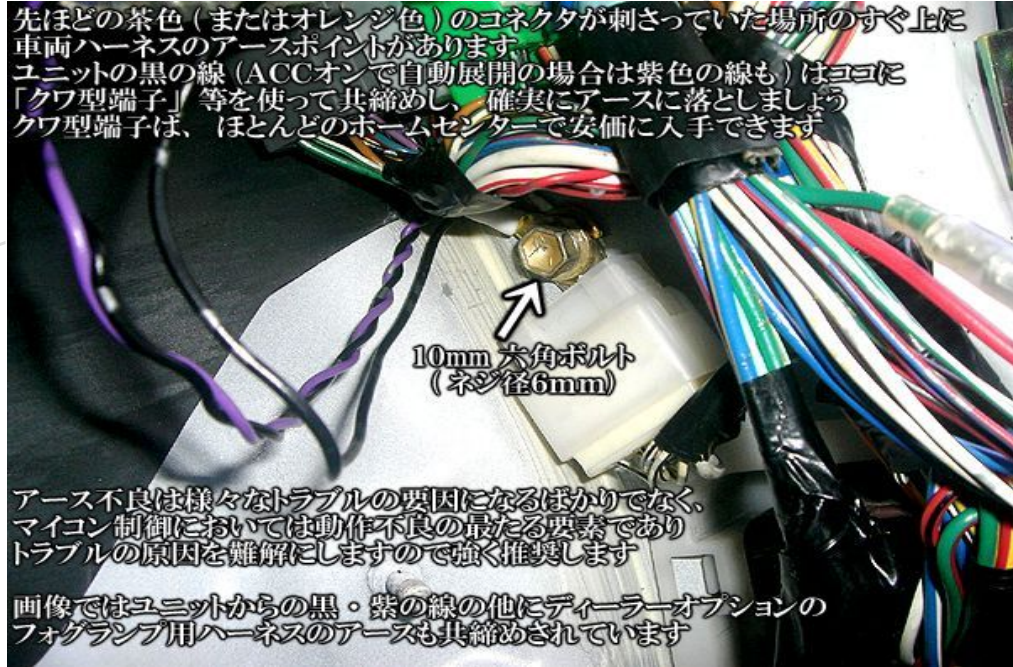
コネクタを外しロックピンの反対側を見た状態です
 一番左の緑の太い配線が「ドアロック時に12Vがかかる線」ですので、ユニットの橙色の線に繋がります
 (画像では白/緑の線に分岐した後にギボシで橙色へ繋いでいます)

「アンロック時にミラーを自動展開」させるのであれば、隣の赤く太い配線にユニットの紫色の線を接続させて下さい

この車両では「ACCオンでミラーを自動展開」させるので、アンロックの赤い配線は未接続です

右から2番目の青く太い配線はバッテリー電源ですので、ユニットの白い線に接続します

同じコネクタにアースもありますが推奨しません(後述)
 どうしても横着をしたい場合には、画像で後ろに隠れている「白/黒」の配線がアースですのでエレクトロタップでユニットの黒の線(ACCオンで自動展開の場合は紫の線も)を接続します



先ほどの茶色(またはオレンジ色)のコネクタが刺さっていた場所のすぐ上に車両ハーネスのアースポイントがあります
 ユニットの黒の線(ACCオンで自動展開の場合は紫色の線も)はここに「クワ型端子」等を使って共締めし、確実にアースに落としましょう
 クワ型端子は、ほとんどのホームセンターで安価に入手できます

アース不良は様々なトラブルの要因になるばかりでなく、マイコン制御においては動作不良の最たる要素でありトラブルの原因を難解にしますので強く推奨します

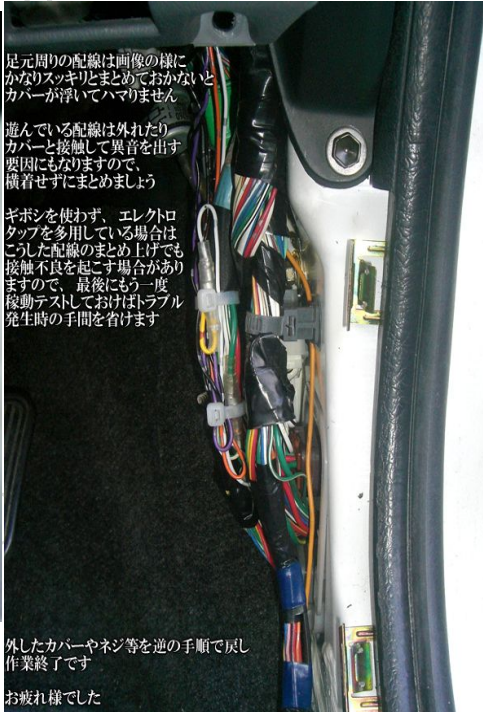
画像ではユニットからの黒・紫の線の他にディーラーオプションのフォグランプ用ハーネスのアースも共締めされています



ここまで作業においてユニットからの標準配線で長さが足りなくなる事はないかと思います
 配線を上下に振り分けるのでユニットの固定位置は必然的にこの辺りになるはず(画像はカードポケットの穴から下方を見た状態です)

すでに配線作業は終了しますので、タイラップでハーネス等に固定する前に必ず稼働テストをして下さい

バッテリーを外して作業した方はバッテリーの再接続を忘れずにまたタイラップ固定に必要な最小限の力で締めて下さい
 ユニットの必要以上に締め上げると損傷する可能性があります



足元周りの配線は画像の様にかなりスッキリとまとめおかないとカバーが浮いてハマりません

遊んでいる配線は外れたりカバーと接触して異音を出す要因にもなりますので、横着せずにまとめよう

ギボシを使わず、エレクトロタップを多用している場合はこうした配線のまとめ上げでも接触不良を起こす場合がありますので、最後にもう一度稼働テストしておけばトラブル発生時の手間を省けます

外したカバーやネジ等を逆の手順で戻し作業終了です
 お疲れ様でした